

KENWOOD

DDX318

デュアルDINサイズDVDレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド



目次

安全上のご注意.....	4	DVD	22
使用上のご注意.....	7	DVDビデオ/DVD-VRを再生する.....	22
本機の異常にお気づきのときは.....	7	ディスクメニューを操作する.....	24
本機のお手入れについて.....	7	DVDセットアップメニューを 表示する.....	25
オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の 操作について.....	7	ビデオCD.....	26
モニター画面について.....	7	ビデオCDを再生する.....	26
免責事項について.....	7	曲番号を指定して選曲する.....	27
共通の操作	8	USB.....	28
各部の名称とはたらき.....	8	ファイルを再生する.....	28
電源をオン/オフする.....	9	再生するファイルタイプを変更する.....	30
音量を調節する.....	9	再生するファイルをリストで選択する...	31
ソースを切り替える.....	9	iPod.....	32
画面操作と切り替えかた.....	10	iPodを再生する.....	32
はじめの設定	12	iPodセットアップメニューを表示する..	34
初期設定をする.....	12	再生するファイルをリストで選択する...	35
時計を合わせる.....	13	AV外部ソース	36
ラジオ	14	外部ソースの音を聴く/映像を観る.....	36
ラジオを聴く・操作する.....	14	AV-INの名前を設定する.....	37
放送局を自動登録する （オートメモリー）.....	15	画面設定	38
受信中の放送局を1つずつ登録する （プリセットメモリー）.....	16	画面を設定する.....	38
登録した放送局を呼び出す.....	16	映像ソースの画質を調整する.....	39
CD	17	画面モードを設定する.....	40
音楽CDを再生する.....	17	ズームで画面を拡大する.....	41
オーディオ/ビデオ/ピクチャ ファイルディスク.....	18		
ファイルを再生する.....	18		
再生するファイルタイプを変更する.....	20		
再生するファイルをリストで選択する...21			



オーディオ設定	42	ディスクについて	57
オーディオを設定する.....	42	本機で再生できるディスクメディア.....	57
フェーダー/バランスを設定する.....	43	使用できるディスク.....	57
プリセットイコライザーを設定する.....	43	結露について.....	57
ユーザーイコライザーを設定する.....	44	ディスク用アクセサリについて.....	58
クロスオーバー周波数を変更する.....	45	レンズクリーナーについて.....	58
ソースの音量バランスをそろえる.....	46	ディスクの取り扱いについて.....	58
スピーカーの種類を設定する.....	46	ディスクのお手入れ.....	58
表示設定	47	ディスクの保存.....	59
表示を設定する.....	47	ディスクの取り出ししかた.....	59
イルミネーション色を設定する.....	48	DVDのリージョン番号.....	59
背景画像を読み込み変更する.....	49	操作規制マークについて.....	59
ソースアイコンを好きな順番に並べる...50	50	メディアおよびファイルについて ...60	60
画面の明るさを調節する.....	50	本機で再生できるメディア.....	60
入力設定	51	本機で再生できるオーディオ/ ビデオ/ピクチャーファイル.....	62
入力を設定する.....	51	iPod/iPhoneについて	63
リアビューカメラを設定する.....	52	本機でコントロールできる iPod/iPhoneについて.....	63
システム設定	53	故障かな?と思ったら	64
システムを設定する.....	53	用語解説	68
設定を保存する/呼び出す.....	54	仕様	70
タッチ位置を調整する.....	55	保証とアフターサービス	72
DVD言語コード表	56	ケンウッド全国サービス網	73
DVD言語コード表.....	56		

安全上のご注意




- ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所(車のグローブボックスなど)に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 注意	△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

⚠ 警告



禁止

交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



禁止

運転者は、画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。



実施

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ずお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

画面が表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。

安全上のご注意

警告



実施

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け作業には専門技術が必要です。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意



禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

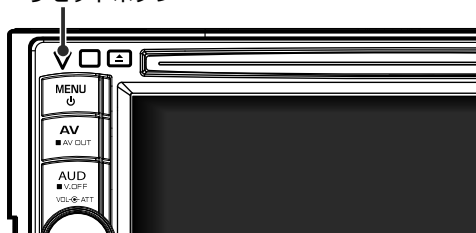
本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.64)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン



リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外に切り替えてください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点ができることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

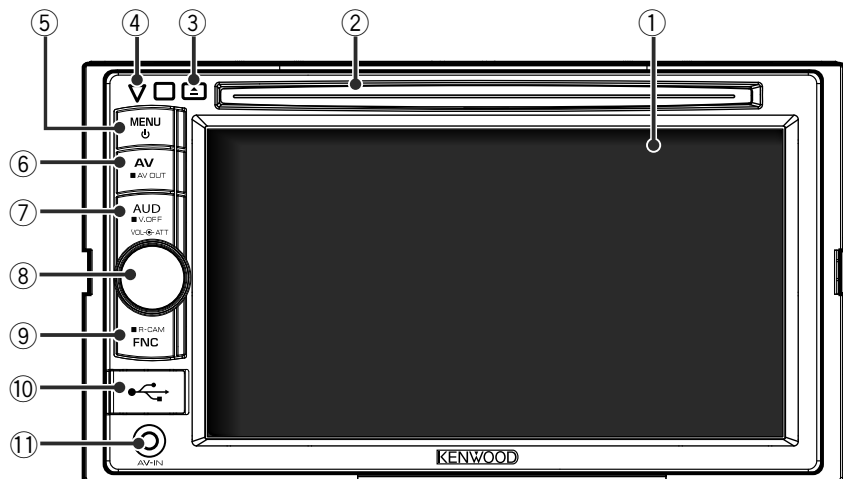
免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

共通の操作

各部の名称とはたらき



番号	名前/本書での表記	動作
①	画面	映像や操作画面を表示します。画面に出るボタンやアイコンにタッチして本機を操作します。
②	ディスク挿入口	ディスクのタイトル面を上にして差し込みます。
③	イジェクトボタン	ディスクを取り出します。 ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。
④	インジケータ/リセットボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源がオンすると点灯します。 ●電源がオフのとき、本機のセキュリティ(SI)を設定すると点滅します。(P.53) ●本機をリセットします。(P.7)
⑤	MENUボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源をオンにします。1秒以上押すと本機の電源をオフにします。 ●電源がオンのときに押すと、Top Menu (トップメニュー) 画面を表示します。
⑥	AVボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●選択しているソース画面を表示します。 ●1秒以上押すたびに本機のAV出力(映像出力端子)のソースを切替えます。再生しているソースがディスク、iPod、USBのときは再生しているソースかAV-IN (AV inputの設定が"AV-IN"のとき)が選択できます (P.51)。
⑦	AUDボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●オーディオ設定のTone (トーン) 画面を表示します (P.44)。 ●1秒以上押すと画面表示をオフにします。表示画面がオフ中に[MENU]ボタンを押すか、画面にタッチすると画面表示をオンにします。 ●左右に回して音量を調節します。
⑧	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> ●押すと音量を一時的に小さくします(アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。再度押すかボリュームを右に回して音量を上げるとアッテネーターを解除します。

番号	名前/本書での表記	動作
⑨	FNCボタン FNC	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択しているソースの操作画面を表示します。(P.11) ● 1秒以上押すとリアビューカメラの映像を表示します。(P.52)
⑩	USB端子	フタを横に開けて、USB機器/iPodを接続します。
⑪	AV-IN端子	ビデオカメラなどの外部映像機器を接続します。iPodのビデオ映像を楽しむときは、本機のAV-IN端子入力の設定を"iPod"に切り替えて接続します。(P.12)

電源をオン/オフする

[MENU]ボタンを押すと本機の電源をオンにします。
1秒以上押すと本機の電源をオフにします。



音量を調節する

ボリュームノブを左右に回して音量を調節します。

音量を一時的に小さくするには...

ボリュームノブを押すと音量を一時的に小さくします(アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。再度押すかボリュームを右に回して音量を上げるとアッテネーターを解除します。

ソースを切り替える

アイコンにタッチして再生するソースを切り替えます。

Top Menu画面が表示されていないときは、[MENU]ボタンを押します。

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- **←** にタッチすると前の状態に戻ります。
- STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。
- SETUP(セットアップ)にタッチするとSetup画面に切り替ります(P.10)。

共通の操作

画面操作と切り替えかた

本機の電源をオンにしたときに表示される画面は、前回の電源オフ時の再生ソースによります。

Top Menu 画面

ソース選択画面です。

ラジオ、ディスク、iPodなどプレイするソースのアイコンをタッチして選択します。

[SETUP]にタッチするとSetup画面に切り替わります。



USB機器 外部AV機器 スタンバイ*

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- にタッチすると前の状態に戻ります。
- *スタンバイは何も再生していない状態です。

操作画面に移動するには...
ソースアイコンにタッチします。

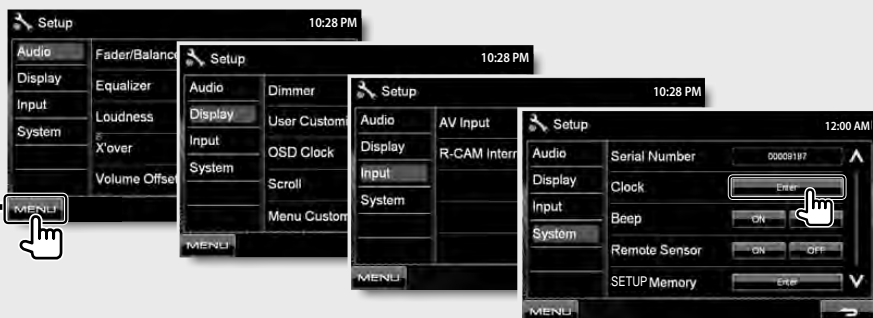
Top Menu画面に移動するには...
 にタッチするか ボタンを押します。

Setup画面に移動するには...
 にタッチします。

Setup 画面

オーディオや時計調整など本機の各種の項目を設定する画面です。

[MENU]にタッチするか本体の[MENU]ボタンを押すとTop Menu画面に切り替わります。



ソース操作画面

選択したソースの操作画面です。

[MENU]にタッチするか本体の[MENU]ボタンを押すとTop Menu画面に切り替わります。



Top Menu画面に移動するには...

MENU にタッチするか **MENU** ボタンを押します。

DVD/ビデオCD/USB機器/iPodなど、映像再生中は画面にタッチすると操作画面を呼び出します。
DVDのときの操作例：

画面上部中央にタッチすると
Menu Control画面を表示します。

Menu Control画面



操作ボタン画面



前のチャプターやファイルを
プレイします。

次のチャプターやファイルを
プレイします。

画面下部中央にタッチするか、**FNC** ボタンを
押すと操作ボタンを表示します。

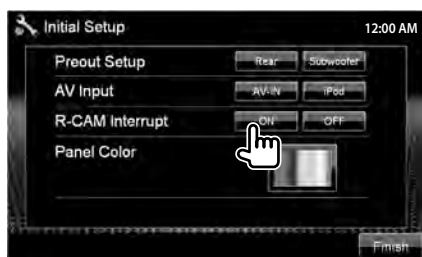
はじめの設定

初期設定をする

初めて電源をオンしたときや、リセットボタンを押したときはInitial Setup (イニシャルセットアップ) 画面を表示します。必要であれば、プリアウト出力やリアカメラなどの設定を行います。

1 電源をオンします。

2 各項目を設定します。



3 **Finish** にタッチして終了します。

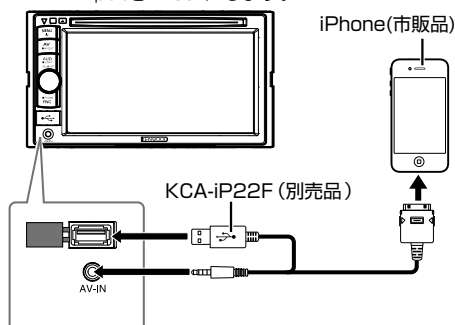
設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

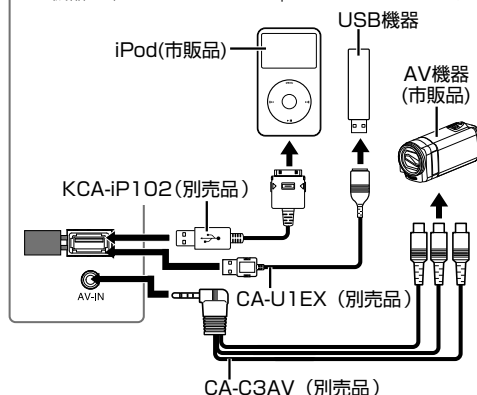
項目	選択肢	説明
Preout Setup	Rear*	リア/サブウーファー出力にリアスピーカーを接続するときに選択します。
	Subwoofer	リア/サブウーファー出力にサブウーファーを接続するときに選択します。
AV Input	AV-IN	iPodのオーディオとUSB機器、外部映像機器を楽しむときに選択します。
	iPod*	iPodの映像とオーディオを楽しむときに選択します。
R-CAM Interrupt	ON	リアビューカメラの映像をギアをR(リバース)に入れたときに自動的に切り替えます。
	OFF*	リアビューカメラの映像をギアをR(リバース)に入れても自動的に切り替わりません。
Panel Color	—	操作ボタン色と画面の背景画像を設定します (P.48)。

AV-Inputの設定について

- iPod/iPhoneの映像とオーディオを楽しむときは、AV Inputを*"iPod"*にします。



- iPod/iPhoneのオーディオとUSB機器/外部映像機器を楽しむときは、AV Inputを*"AV-IN"*にします。



- 上記の設定は各種設定項目 (P42、P47、P51) に示した方法で変更できます。

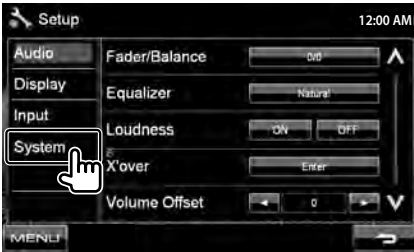
時計を合わせる

時計を合わせます。時計は12時間制で表示します。

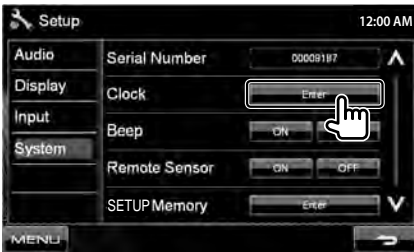
- 1 [MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[SETUP]にタッチします。



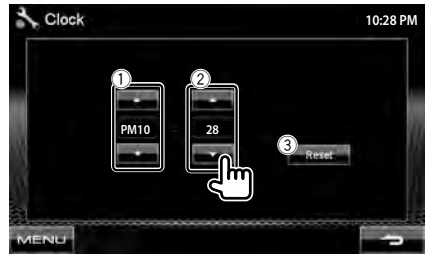
- 2 [System]にタッチします。



- 3 [Clock]にタッチします。



- 4 時刻を合わせます。



- ① ▲ または ▼ にタッチして"時"を調整します。
- ② ▲ または ▼ にタッチして"分"を調整します。
- ③ Reset 00分に合わせます。
例: 3:00 - 3:29 → 3:00
3:30 - 3:59 → 4:00

- 5 → にタッチして終了します。

ラジオ

ラジオを聴く・操作する

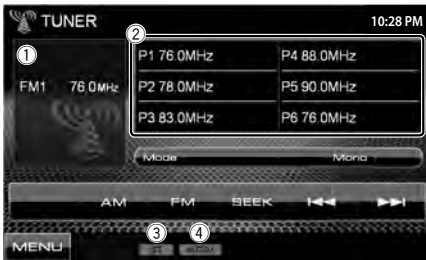
ラジオ放送 (FM/AM) を受信します。

▶ ラジオに切り替える

[MENU] ボタンを押して、Top Menu 画面を表示させ [TUNER] にタッチします。



【ラジオ受信画面】



- ① 受信中の放送局表示
- ② プリセットボタン (P1-P6)
- ③ ステレオ表示
- ④ 選局方法表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
プリセットボタン	よく聴く放送局を登録したり登録されている放送局を受信します。各バンドごとに6局、最大24局登録できます。
AM FM	受信するバンドを選択します。押すたびにAMバンド(1/2)、FMバンド(1/2)に切り替わります。
SEEK	押すたびに放送局の選局方法を設定します。 AUTO1: 放送局を自動的に受信します。 AUTO2: 登録されている放送局を順番に受信します。 MANU: 1ステップずつ周波数が変わります。
Mode	[SEEK] ボタンで設定した選局方法で放送局を選局します。
Mono	TUNER Mode画面を呼び出します。 FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定を[MONO]にすると、雑音が軽減されて聴きやすくなる場合があります。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

バンドごとに、6局の放送局を登録できます。
オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

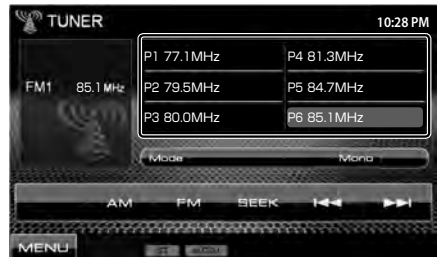
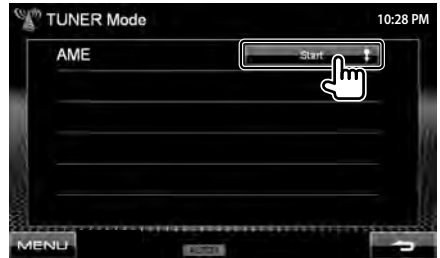
- 1 [AM]または[FM]にタッチして登録したいバンドを選択します。



- 2 [Mode]にタッチして、TUNER Mode画面に切り替えます。



- 3 [Start]ボタンに約2秒以上タッチし続けます。



"Auto Memory"と表示され受信状態の良い放送局が、プリセットボタンに自動的に最大6局登録されます。

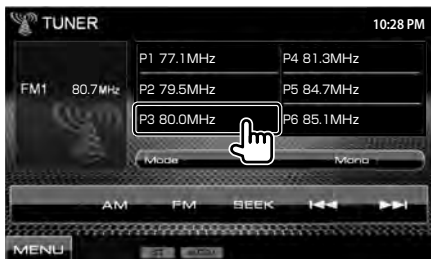
受信中の放送局を1つずつ登録する (プリセットメモリー)

よく聴くお好みの放送局を登録します。
オートメモリーとプリセットメモリーは、どちら
か最後に登録したものが有効になります。

1 お好みの放送局を受信します。



2 登録するプリセットボタンに約2秒 以上タッチし続けます。

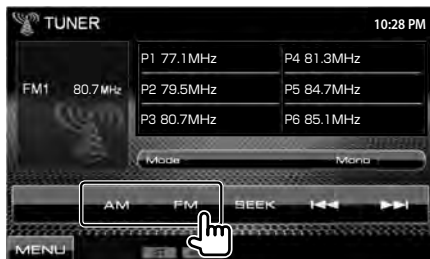


受信中の放送局が選んだプリセットボタンに登録
されます。

登録した放送局を呼び出す

プリセットボタンにタッチして登録した放送局を
呼び出します。

1 [AM]または[FM]にタッチして 聴きたいバンドを選択します。



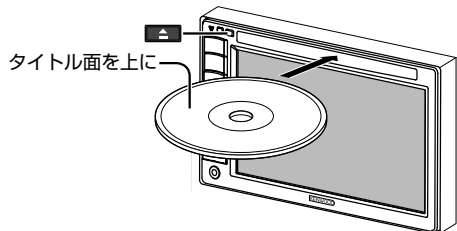
2 聴きたい放送局が登録されている プリセットボタンにタッチします。




選んだ放送局を受信します。

音楽CDを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。



ディスクを取り出すときは...




 (イジェクト) ボタンを押します。

▶ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU] ボタンを押して、Top Menu 画面を表示させ [DISC] にタッチします。



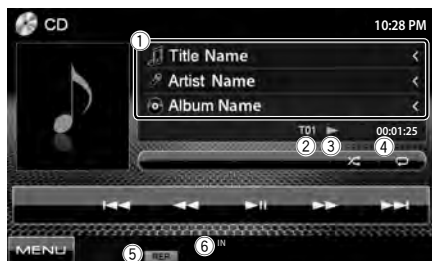
表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次の曲を再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります(2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、  にタッチします。
	ランダム(RDM)プレイをオン/オフします。オンのときには、CDの全曲が順不同に再生されます。
	リピート(REP)プレイをオン/オフします。オンのときには、現在再生中の曲が繰り返し再生されます。



- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。

【CD再生画面】

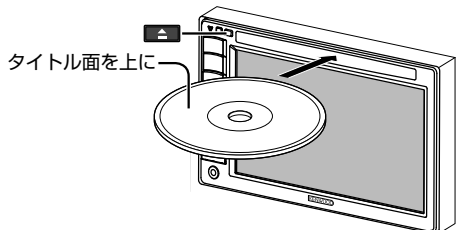


- ① 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (CDにテキスト情報が入っていると表示します。)
- ② トラック番号
- ③ 再生/一時停止/早送り/早戻し表示
- ④ 演奏時間
- ⑤ リピート/ランダム再生表示
- ⑥ ディスク表示 (ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)


オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルディスク

ファイルを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

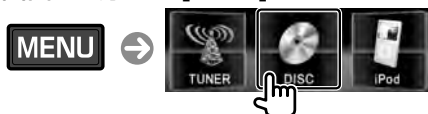


ディスクを取り出すときは...

 (イジェクト) ボタンを押します。

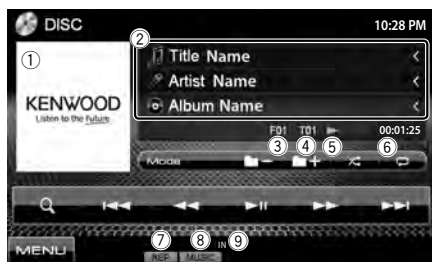
▶ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU] ボタンを押して、Top Menu 画面を表示させ [DISC] にタッチします。



オーディオファイルの再生

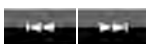

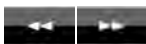







【オーディオファイル再生画面】



- ① アルバムアート画像
- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (テキスト情報が入っていると表示します。)
- ③ フォルダ番号
- ④ ファイル番号

- ⑤ 再生/一時停止/早送り/早戻し表示
- ⑥ 演奏時間
- ⑦ リピート/ランダム再生表示
- ⑧ ファイルの種類表示
- ⑨ ディスク表示 (ディスクが本機にセットされているとINと表示します。)

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送ります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります (2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、  にタッチします。
	再生するディスクにオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.20)。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オン有的时候には、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オン有的时候には、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P.21)。



- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルディスク

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面(スキップ)】



- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control 画面が表示されます (P.38)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン】



- ①フォルダ番号
- ②ファイル番号
- ③演奏時間
- ④リピート/ランダム再生表示
- ⑤ファイルの種類表示
- ⑥ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。ビデオファイルのときは、タッチし続けると、倍速で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	ビデオファイルのとき、早送りまたは早戻しします。タッチするたびに3段階でスピードが変わります。再生したいところで、 にタッチします。
	再生するディスクにオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.20)。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P.21)。



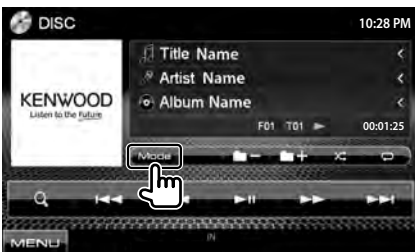
- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルディスク

再生するファイルタイプを変更する

ディスクにオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します。

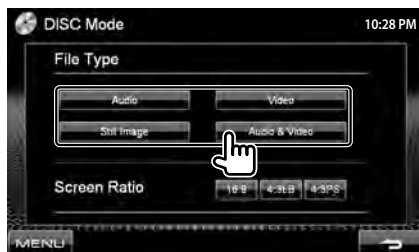
1 [Mode]にタッチします。



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチするか、**FNC** ボタンを押して操作ボタンを表示してから[Mode]にタッチします。



2 再生したいファイルの種類を選んでタッチします。



Audio:

オーディオファイルを選択します。

Video:

ビデオファイルを選択します。

Still Image:

ピクチャファイルを選択します。

Audio&Video:

オーディオとビデオファイルを選択します。

オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルディスク

再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

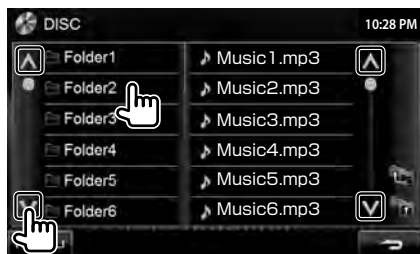
1 検索アイコンにタッチします。



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してから検索アイコンにタッチします。



2 フォルダを選んでタッチします。



リストが多いときは、▲ ▼ にタッチするとリストを移動します。
ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

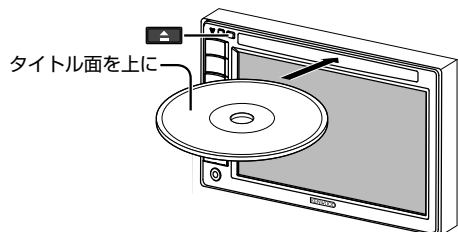


- 検索アイコンにタッチすると最上位階層へ、上向き矢印アイコンにタッチするとリストの1階層上に戻れます。
- リストに表示されるファイルは「再生するファイルタイプを変更する」(P.20)で選択した種類のファイルが表示されます。


DVD

DVDビデオ/DVD-VRを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。



ディスクを取り出すときは...

 (イジェクト) ボタンを押します。

▶ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU] ボタンを押して、Top Menu
画面を表示させ [DISC] にタッチします。



【DVD再生画面】



【DVD再生画面 (スキップ)】







- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control画面が表示されます (P.23)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン】




- ①タイトル番号
- ②チャプター番号
- ③演奏時間
- ④ディスク表示 (ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	DVDセットアップメニューを表示します (P.25)。
	再生を停止します。
	前または次のチャプターを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。



早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります(2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、にタッチします。











タイトル(Title)/チャプター(Chapter)リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のタイトルまたはチャプターが繰り返し再生されます。



- タイトルリピートプレイ、チャプターリピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【Menu Control画面】



ボタン	説明
	ディスクメニューを表示します (P.24)。
	ディスクのトップメニューを表示します (P.24)。
	音声の言語を切り替えます。
	字幕の言語を切り替えます。
	アングルを切り替えます。
	ディスクメニューをカーソルで移動して選択します (P.24)。
	ディスクメニューをダイレクトに画面のボタンにタッチして選択します (P.24)。
	画質を調整します (P.39)。
	画面再生モードを変更します (P.40)。
	再生画面を拡大します (P.41)。

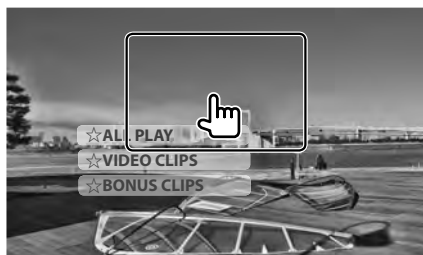
ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー(ディスクメニュー)を操作します。

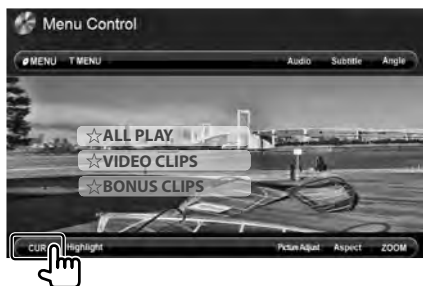
カーソルで操作するときには...

本機が表示するボタンで操作します。

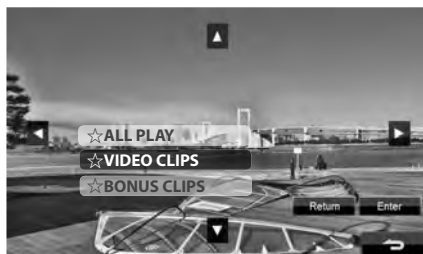
- 1 ディスクメニューの表示中に画面上部中央にタッチします。



- 2 [CUR]にタッチします。



- 3 各ボタンにタッチして操作します。



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	カーソルを移動します。
	ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。
	項目の選択を決定します。
	DVD操作ボタンの画面に戻ります。

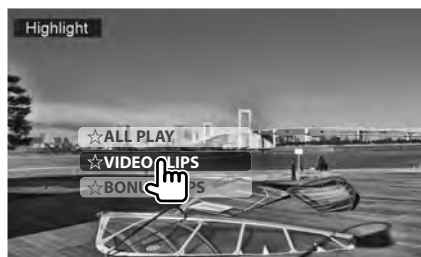
ダイレクトに操作するときには...

ディスクメニューの項目にタッチして操作します。

- 1 前項2で[Highlight]にタッチします。



- 2 画面にタッチして操作します。



- 表示されるディスクメニューは再生しているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ダイレクト操作を中止するときは、**FNC** ボタンを押します。

DVDセットアップメニューを表示する

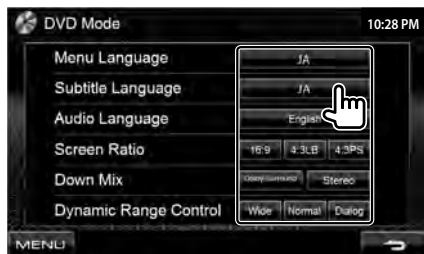
DVDに関する各種の設定を行います。

1 [Mode]にタッチします。

画面下部中央にタッチして、操作ボタンを表示して[Mode]にタッチします。






2 各項目を設定します。



3 []にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
Menu Language	—	ディスクメニューの優先言語を設定します。
Subtitle Language	—	字幕の優先言語を設定します。
Audio Language	—	音声の優先言語を設定します。
Screen Ratio	16:9*	ワイドモードで表示します。通常はこの設定でお使いください。 
	4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。 
	4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。 
Down Mix	Dolby Surround	ドルビーサラウンド音声を再生するときに設定します。
	Stereo*	音声をステレオで再生します。通常はこの設定でお使いください。
Dynamic Range Control	Wide	DVDの音声のダイナミックレンジを設定します。
	Normal	ダイナミックレンジはWide>Normal>Dialogの順に狭くなりますが、映画のセリフ等は明確に聞き取れるようになります。
	Dialog*	

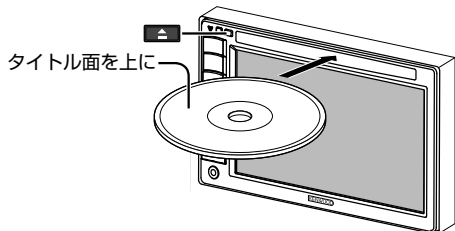


- 言語の選択は、DVD言語コード表を参照してください(P.56)。
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- Screen Ratioは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。


ビデオCD

ビデオCDを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。



ディスクを取り出すときは...

 (イジェクト) ボタンを押します。

▶ ディスクに切り替える

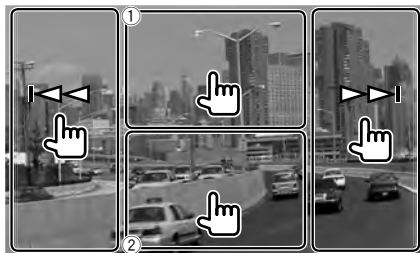
すでにディスクが入っているときは...
[MENU] ボタンを押して、Top Menu 画面を表示させ [DISC] にタッチします。



【ビデオCD再生画面】



【ビデオCD再生画面(スキップ)】








- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control 画面が表示されます (P.27)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン】



- ①トラック番号
- ②演奏時間
- ③ディスク表示(ディスクが本機にセットされているとINと表示します。)

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	再生を停止します。 PBC (プレーバックコントロール) 機能がオンのときはPBCをオフします。
	前または次のトラックを再生します。 タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります (2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、  にタッチします。

曲番号を指定して選曲する

曲番号を指定して曲を選びます。

1 [Direct]にタッチします。

画面上部中央にタッチして、Menu Control画面を表示して[Direct]にタッチします。



2 [Direct]、[数字ボタン]、[Enter]の順にタッチして曲を選びます。



曲番号を入れ間違えたときは、**Direct/CLR** にタッチします。

✕ 押すたびにランダム(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、全トラックが順不同に再生されます。

🔄 リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のトラックが繰り返し再生されます。



- リピートプレイ、ランダムプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- PBC (プレーバックコントロール) 機能がオンのときは、ランダム/リピート再生は選択できません。
- 走行中は、ビデオの映像は映りません。

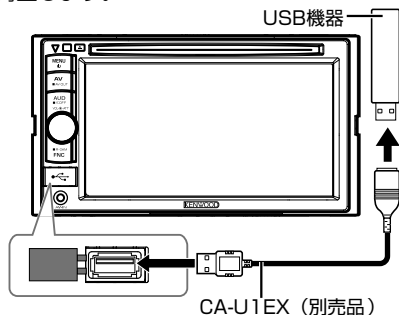
【Menu Control画面】



ボタン	説明
MENU	ディスクメニューを表示します。
Direct	ダイレクト選択ボタンを表示します。
Audio	音声をST：ステレオ、L：左、R：右の順で切り替えます。
Return	ディスクメニュー画面に戻ります。
Picture Adjust	画質を調整します (P.39)。
Aspect	画面再生モードを変更します (P.40)。
ZOOM	再生画面を拡大します (P.41)。

ファイルを再生する

カバーを横に開き、別売のUSBケーブル(推奨品「CA-U1EX」:最大電流500mA)を使ってUSB機器をUSB端子に接続します。接続すると自動で再生します。



USB機器を取り外すときは...

にタッチします。

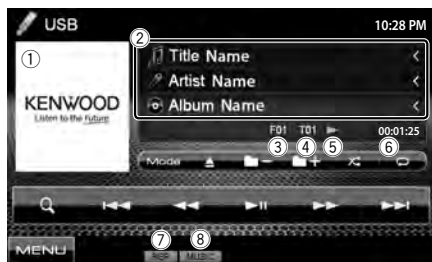
▶ USBに切り替える

すでにUSB機器が接続されているときは...
[MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[USB]にタッチします。



オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



- ① アルバムアート画像
- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示
- ③ フォルダ番号

- ④ ファイル番号
- ⑤ 再生/一時停止/早送り/早戻し表示
- ⑥ 演奏時間
- ⑦ リピート/ランダム再生表示
- ⑧ ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります(2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、 にタッチします。
	再生するUSB機器にオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.30)。
	USB機器を取り外すときにタッチします。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P.31)。



- USBケーブルを使わずに直接接続するとUSB機器が突起物となり危険です。
- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面(スキップ)】



- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control 画面が表示されます (P.38)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン】



- ①フォルダ番号
- ②ファイル番号
- ③演奏時間
- ④リピート/ランダム再生表示
- ⑤ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。ビデオファイルのときは、タッチし続けると、倍速で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	ビデオファイルのとき、早送りまたは早戻しします。タッチするたびに3段階でスピードが変わります。再生したいところで、 にタッチします。
	再生するUSB機器にオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.30)。
	USB機器を取り外すときにタッチします。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダランダム/全ファイルランダム/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイルリピート/フォルダリピート/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P.31)。



- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

再生するファイルタイプを変更する

USB機器にオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します。

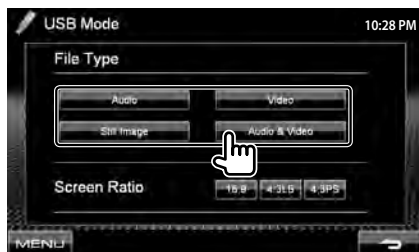
1 [Mode]にタッチします。



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチしてするか、**[FNC]** ボタンを押して操作ボタンを表示してから [Mode] にタッチします。



2 再生したいファイルの種類を選んでタッチします。



Audio:

オーディオファイルを選択します。

Video:

ビデオファイルを選択します。

Still Image:

ピクチャファイルを選択します。

Audio&Video:


オーディオとビデオファイルを選択します。

再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

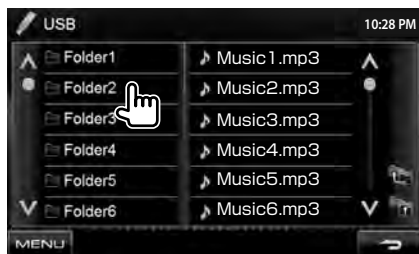
1 再生ボタンにタッチします。





ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してから、 にタッチします。



2 フォルダを選んでタッチします。





リストが多いときは、  にタッチするとリストを移動します。ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

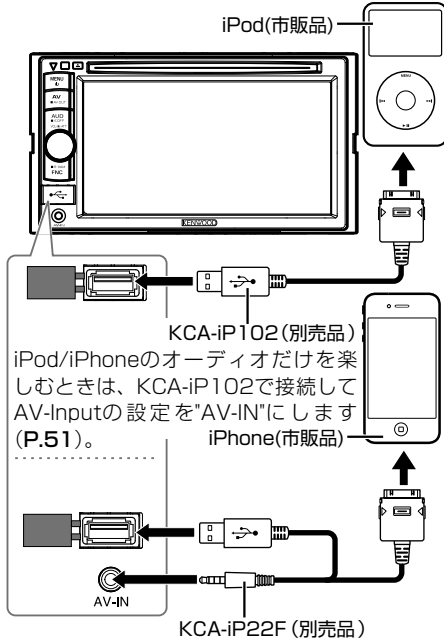


-  にタッチすると最上位階層へ、 にタッチするとリストの1階層上に戻れます。
- リストに表示されるファイルは「再生するファイルタイプを変更する」(P.30)で選択した種類のファイルが表示されます。

iPod

iPodを再生する

カバーを横に開き、別売のiPod接続ケーブル (KCA-iP22FまたはKCA-iP102) を使ってiPodをUSB端子とAV-IN端子またはUSB端子に接続します。接続すると自動で再生します。



iPod/iPhoneの映像とオーディオを楽しむときは、KCA-iP22Fで接続してAV-Inputの設定を"iPod"にします (P.51)。

iPodを取り外すときは...

iPodをiPod接続ケーブルから取り外します。

▶ iPodに切り替える

すでにiPodが接続されているときは... [MENU] ボタンを押して、Top Menu 画面を表示させ [iPod] にタッチします。



【iPod再生画面】



- ① アルバムアート画像
- ② 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (テキスト情報が入っていると表示します。)
- ③ 曲番号/全曲数
- ④ 再生/一時停止表示
- ⑤ 演奏時間
- ⑥ リピート/ランダム再生表示
- ⑦ ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早戻しまたは早送ります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	早送りまたは早戻しします。再生したいところで、 にタッチします。
	オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像の設定します (P.34)。
	押すたびに全ファイル (RDM)/アルバム (A-RDM)/オフを切り替えます。オンときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。
	現在再生中のファイルを繰り返し再生されます (REP)。
	再生リストを表示します。再生する曲をカテゴリーで選択できます (P.35)。
	ハンドモードのオン/オフを切り替えます。ハンドモードがオンのときは、iPod側で操作できます。



- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

【iPodビデオ再生画面】



【iPodビデオ再生画面(スキップ)】



- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control 画面が表示されます (P.38)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン】



- ① 演奏時間
- ② リピート/ランダム再生表示
- ③ ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	早送りまたは早戻しします。再生したいところで、 にタッチします。
	オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像の設定します (P.34)。
	押すたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。
	現在再生中のファイルを繰り返し再生されます (REP)。
	再生リストを表示します。再生するビデオをカテゴリーで選択できます (P.35)。
	ハンドモードのオン/オフを切り替えます。ハンドモードがオンのときは、iPod側で操作できます。



- ビデオの再生は「再生するファイルをリストで選択する」(P.35)のビデオリストから選択します。
- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

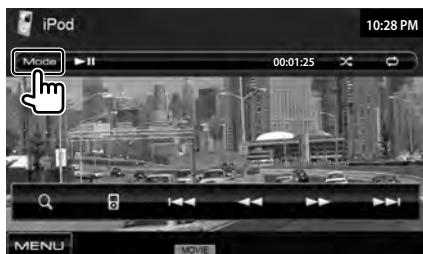
iPodセットアップメニューを表示する

オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像の設定します。

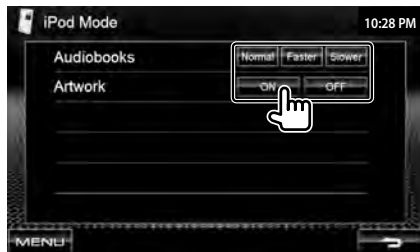
1 [Mode]にタッチします。



ビデオを再生しているときは、画面下部中央にタッチするか、**FNC** ボタンを押して操作ボタンを表示してから[Mode]にタッチします。



2 各項目を設定します。



Audiobooks:

オーディオブックの読み上げ速度を切り替えます。

(Normal: 標準/Faster: 早い/Slower: 遅い)

Artwork:

アルバムアート画像の表示をオン/オフします。

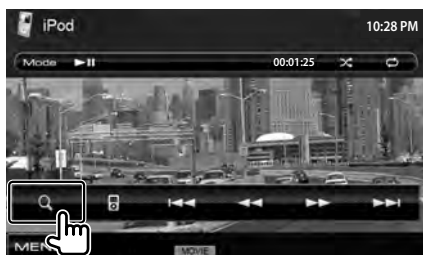
再生するファイルをリストで 選択する

iPod本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機側で選択することができます。

1 検索アイコンにタッチします。



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してから、検索アイコンにタッチします。

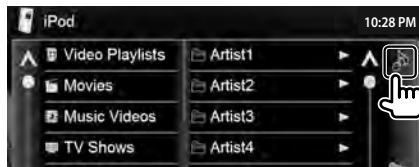


2 (ミュージックリスト)または (ビデオリスト)を選択します。

ミュージックリスト



ビデオリスト



3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオ ファイルを選んでタッチします。



リストが多いときは、▲ ▼ にタッチするとリストを移動します。

ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。選択したファイルが再生されます。

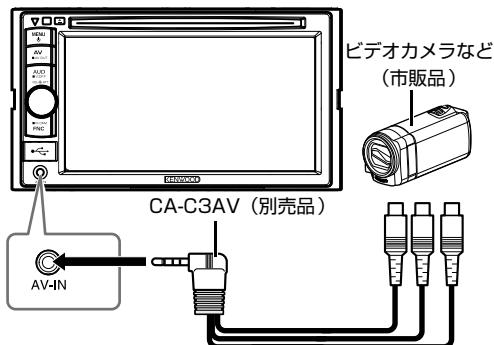


- 検索アイコンにタッチすると最上位階層へ、ミュージックリストアイコンにタッチするとリストの1階層上に戻れます。
- 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴリーは、iPodとiPod Videoとでは異なります。また、iPod Videoのサブカテゴリーは、接続するiPodによって異なります。

AV外部ソース

外部ソースの音を聴く/映像を観る

本機のAV-IN端子に接続したビデオカメラなどの外部機器の音声や映像を視聴します。




AV-IN端子を使用するときはAV-Inputの設定を"AV-IN"にします (P.51)。

【操作ボタン画面】



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	AV-INの名前を設定します。ここで設定した名前はAV-IN画面を選択したときに表示されます (P.37)。



- 市販の4極ミニプラグ付ビデオケーブルは、本機では使用できません。AV-IN端子に外部機器を接続するときは、CA-C3AV(別売品)をご使用ください。

▶ VIDEOに切り替える

[MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[VIDEO]にタッチします。



【AV-IN画面】



- ①画面の上部中央にタッチすると、Menu Control画面が表示されます (P.38)。
- ②画面の下部中央にタッチするか **FNC** ボタンを押すと、操作ボタンが表示されます。

AV-INの名前を設定する

AV-IN画面で表示される名前を設定します。


- 1 VIDEO Mode画面で[Mode]にタッチします。



- 2 タッチして名前を選びます。



VIDEO/DVD/VCD/VCR/GAME/AUX/TV
の中から選びます。

- 3  にタッチして終了します。



- 名前を変更してもTop Menu画面のソースアイコンの名前は変わりません。

画面設定

画面を設定する

映像ソースの画質や画像モード、画像ズームを設定します。

1 DVD、USB、iPodや外部機器の映像を再生します。

2 画面上部中央にタッチします。




3 各項目を設定します。

(画面例：DVD)



(画面例：iPod)



4  にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
Picture Adjust	Bright	映像ソースの画質を調整します (P.39)。
	Contrast	
	Black	
	Color	
	Tint	
Aspect	Sharpness	画面モードを設定します (P.40)。
	Full	
	Just Normal	
	Auto	
Zoom	Zoom1	再生している映像を拡大表示します(P.41)。
	Zoom2	
	Zoom3	
	OFF	

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。
車両のライトスイッチがオン(ディマーオン)と、
オフ(ディマーオフ)のときで別々に設定できます。

1 [Picture Adjust]にタッチします。

(画面例：DVD)



(画面例：iPod)



2 [DIM ON]または[DIM OFF]に タッチしてから **-** または **+** に タッチして、各項目を調整します。



DIM ON:ディマーオン時の設定をします。
DIM OFF:ディマーオフ時の設定をします。

3 **→** にタッチして終了します。

調整できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Bright	明るさを調整します。 + にタッチすると明るくなり、- に タッチすると暗くなります。
Contrast	コントラストを調整します。 + にタッチするとコントラストが強 くなり、- にタッチすると弱くなります。
Black	黒色の明るさを調整します。 + にタッチすると明るくなり、- に タッチすると暗くなります。
Color	色の濃淡を調整します。 + にタッチすると濃くなり、- にタ ッチすると淡くなります。
Tint	色相を調整します。 + にタッチすると緑が強くなり、- に タッチすると赤が強くなります。
Sharpness	鮮明度を調整します。 + にタッチすると鮮明度強くなり、- にタッチすると鮮明度が弱くなります。



● 映像ソースによっては、調整できない項目もあります。

画面設定

画面モードを設定する

再生する映像の画面モードを設定します。

1 [Aspect]にタッチします。

(画面例：DVD)



(画面例：iPod)



2 [Aspect]にタッチして、画面モードを選択します。









Full/Just/Normal/Auto*の中から選びます。

*AutoはソースがUSBまたはディスクのとき選択できます。

3 にタッチして終了します。

画面モードは、再生する映像のアスペクト比(縦横比)で変化します。再生する映像に合わせて選択します。

画像モード	4:3の映像のとき	16:9の映像のとき
Full:		
Just:		
Normal:		
Auto	再生する映像を検出して自動的に最適な画面モードに切り替えます。	



Full:

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像がかけることなくワイド画面が表示されます。

Just:

画面の両端に近づくほど、横方向に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感無く楽しめます。

Normal:

4:3の映像をそのまま表示します。

ズームで画面を拡大する

再生している映像の画面を拡大表示します。

1 [Zoom]にタッチします。

(画面例：DVD)








(画面例：iPod)



2 [Zoom]にタッチして、ズームモードを選択します。



 タッチするたびにズーム倍率 (Zoom1/2/3/オフ) が変わります。

  ズームした画像をタッチした方向に移動します。
 

3 にタッチして終了します。

オーディオ設定

オーディオを設定する

車内の音響効果や音質を調整します。
オーディオ設定は、ソースを選択して音が出ているときに行ってください。

- 1 [MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[SETUP]にタッチします。



- 2 [Audio]にタッチします。



- 3 各項目を設定します。



リストが多いときは、▲▼にタッチするとリストを移動します。

- 4 → にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
Fader/Balance	—	前後/左右の音量バランスを設定します (P.43)。
Equalizer	—	音質を設定します (P.43、P44)。
Loudness	ON*	小さな音量で音楽を聴くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。
	OFF	ラウドネスをオフします。
X'over	—	各スピーカーのクロスオーバー周波数を設定します (P.45)。
Volume Offset	— 15~+6	ソースごとの音量差を調整します。ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます (P.46)。
Preout Setup*1	Rear*	リア/サブウーファー出力にサブウーファーを接続するときに選択します。
	Subwoofer	リア/サブウーファー出力にリアスピーカーを接続するときに選択します。
Subwoofer*2	ON	サブウーファーをオンします。
	OFF	サブウーファーをオフします。
Speaker Select	Standard Narrow Middle Wide	接続するスピーカーを設定します (P.46)。

*1 スタンバイのときに設定できます。

*2 サブウーファーはPreout SetupがSubwooferのときに設定できます。



- [Audio]、[Display]、[Input]、[System]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

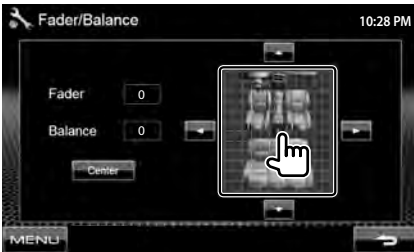
フェーダー/バランスを設定する

前後および左右の音量バランスを調整します。

1 [Fader/Balance]にタッチします。



2 フェーダー/バランスを合わせる位置にタッチします。



← または → にタッチして前後のバランスを
← または → にタッチして左右のバランスを
調整することもできます。

Center にタッチすると、前後/左右ともに
バランスは中央になります。

3 → にタッチして終了します。

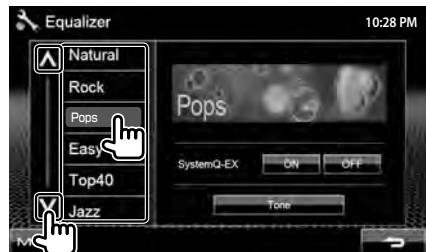
プリセットイコライザーを設定する

音楽のジャンルに合わせて、プリセットイコライザーを設定します。

1 [Equalizer]にタッチします。



2 プリセットイコライザーのジャンルを選んでタッチします。



リストが多いときは、▲ ▼ にタッチすると
リストを移動します。

3 → にタッチして終了します。



- 手順2で、Tone にタッチすると、ユーザー独自のイコライザーカーブ(User)を設定できます(P.44)。
- プリセットイコライザーはソースごとに設定できます。

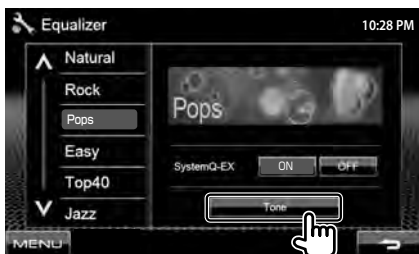
オーディオ設定

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブ (User) を設定することもできます。

ユーザーイコライザーは、ソースごとに設定できます。

1 [Tone]にタッチします。



SystemQ-ExがOFFのときは、調整できるのは各音域のレベル (Level) だけになります。

2 Bass(低域)/Middle(中域)/Treble(高域)の音質を設定します。



← または → にタッチして中心周波数 (Freq)、レベル (Level) またはクオリティファクタ (Q Factor) を設定します。

Bass EXTをONに設定すると、低域 (Bass) の中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

Flat にタッチすると、全周波数帯のレベルが0になります。

サブウファーレベル (SW Level) は、サブウファーがONのときに音量設定ができます (P.46)。

3 → にタッチして終了します。

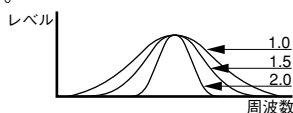


Bass /Middle/Teble

低音、中音、高音を調節する周波数 (中心周波数) を、この機能を使って設定することができます。

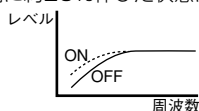
Q Factor (クオリティファクタ)

低音、中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



BASS EXT (バスエクステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。



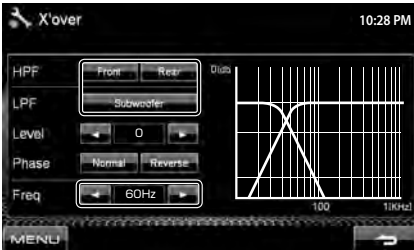
クロスオーバー周波数を変更する

フロント/リアスピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数と、サブウーファーの位相と出力レベルを設定します。

1 [X'over]にタッチします。

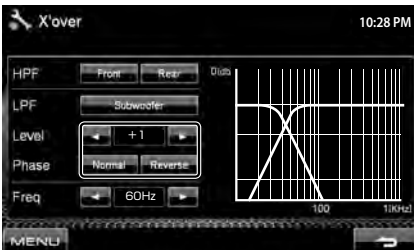


2 フロント (またはリア) スピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数を設定します。



← または → にタッチしてFreq(クロスオーバー周波数)を設定します。

3 サブウーファーのみ、位相と出力レベルの設定をします。



4 [] にタッチして終了します。



- クロスオーバー周波数とは、フロント/リアスピーカーの場合はその周波数よりも低い成分をカットする周波数です。また、サブウーファーの場合は、その周波数よりも高い成分をカットする周波数です。この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。“Through(スルー)”に設定すると、この機能はオフになります。
- サブウーファーの設定はSubwooferが“ON”のとき設定できます (P.42)。また位相 (Phase) の設定はLPFが “Through(スルー)” 以外のときに設定できます。

オーディオ設定

ソースの音量バランスをそろえる

CDの音量を基準に、各ソースの音量をそろえます。ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

1 [Volume Offset]で音量を調節します。



← または → にタッチして音量を調節します。

2 にタッチして終了します。

スピーカーの種類を設定する

車両のスピーカーの種類を設定します。

1 [Speaker Select]にタッチしてスピーカーを選びます。



Standard:

標準的なスピーカーに合う設定です。

Narrow:

周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定です。

Middle:

低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定です。

Wide:

低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定です。

2 にタッチして終了します。

表示設定

表示を設定する

本機の画面の明るさや表示方法など、表示に関する項目を設定します。

- 1 [MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[SETUP]にタッチします。




- 2 [Display]にタッチします。



- 3 各項目を設定します。



リストが多いときは、▲▼にタッチするとリストを移動します。

- 4  にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

Display (表示) *お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
Dimmer	Auto*	画面と照明の明るさを車両のライトスイッチに連動して減光します。
	ON	常時減光します。
	OFF	減光しません。
User Customize	—	ボタンのイルミネーション色やディスプレイの背景画像を変更します(P.48、P.49)。
OSD Clock	ON	映像表示画面に時計を表示します。
	OFF*	表示しません。
Scroll	ON*	ディスプレイに表示するファイル名などのテキストを文字数が多いときにスクロール表示します。
	Once	1回だけスクロール表示します。
	OFF	スクロール表示しません。
Menu Customize	—	Top Menu画面に表示する大きい3つのアイコンのソースを好きな順番に入れ替えられます(P.50)。
Screen Adjust	—	画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します(P.50)。
Video Output	NTSC*	ビデオ出力端子のビデオ方式をNTSC方式に設定します。通常はこの設定でお使いください。
	PAL	ビデオ出力端子のビデオ方式をPAL方式に設定します。



- [Audio]、[Display]、[Input]、[System]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

表示設定

イルミネーション色を設定する

ボタンのイルミネーションの色を設定します。

- 1 [Display]の[User Customize]にタッチします。



- 2 [Panel Color]にタッチします。



- 3 色のボタンにタッチします。



Scanにタッチすると、イルミネーション色は時間とともに変化します。

ユーザー独自の色を作るときは...

ユーザー独自のイルミネーション色を作ることができます。

- 1 前項3で[USER]にタッチして[Edit]にタッチします。



- 2 Red(赤)/Green(緑)/Blue(青)の または にタッチして、新しい色を作ります。



ボタンの発光色を見ながら色を設定します。Dimmer オンとオフを別々にイルミネーション色を設定できます。

- 3 にタッチして終了します。

背景画像を読み込み変更する

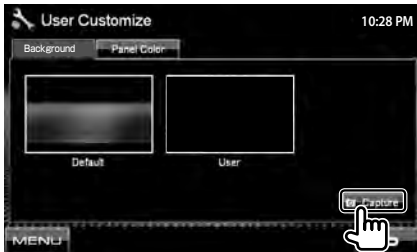
再生している写真や映像を読み込んで、背景画像として設定します。読み込む写真や映像を再生しておきます。

- 著作権保護の写真や映像、iPod/iPhoneの写真や映像は読み込みません。
- 登録できる背景画像は1枚です。
- 画像 (JPEGファイル) のサイズは、800x600ピクセルを推奨します。

1 [Display]の[User Customize]にタッチします。



2 [Capture]にタッチします。



3 画像を調整します。



- ▶ プレイまたは一時停止します。
- ▶ 一時停止のときに映像をコマ送りします。
- 🔍 タッチするたびにズーム倍率 (Zoom 1/2/3/オフ) が変わります。
- ⬆️ ⬆️ ズームした画像をタッチした方向に移動します。
- Cancel 読み込みを中止します。

4 [Capture]にタッチします。



読み込む前に"Overwrite OK?"と表示されます。読み込むときは **Yes** にタッチします。中止するときは **No** にタッチします。

5 **➡** にタッチして終了します。

読み込んだ背景画像に変えるときは...

1 前項2で [User]にタッチします。



2 **➡** にタッチして終了します。

表示設定

ソースアイコンを好きな順番に並べる

Top Menu画面の3つの大きなアイコンを好きなソースに変更したり並び順番を変更できます。


- 1 [Disply]の[Menu Customize]にタッチします。



- 2 変更するアイコンにタッチします。



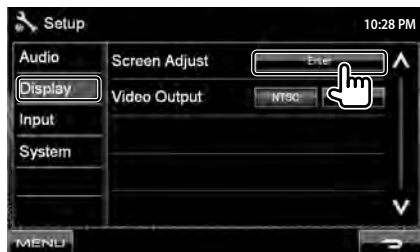
← → にタッチしてソースアイコンを変更します。



- 3  にタッチして終了します。

画面の明るさを調節する

画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します。車両のライトスイッチに連動するディマーオンとオフを別々に設定できます。


- 1 [Disply]の[Screen Adjust]にタッチします。







- 2 DIM ONまたはDIM OFFにタッチしてから  または  にタッチして、各項目を調整します。



DIM ON:ディマーオン時の設定をします。
DIM OFF:ディマーオフ時の設定をします。

- 3  にタッチして終了します。

調整できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Bright	明るさを調整します。  にタッチすると明るくなり、  にタッチすると暗くなります。
Black	黒色の明るさを調整します。  にタッチすると明るくなり、  にタッチすると暗くなります。

入力設定

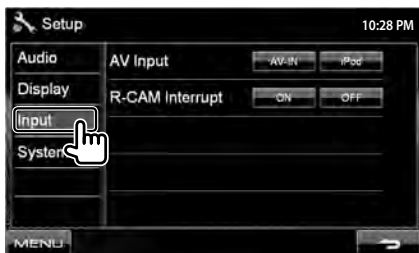
入力を設定する

本機のAV-IN端子やリアカメラなど、入力に関する項目を設定します。

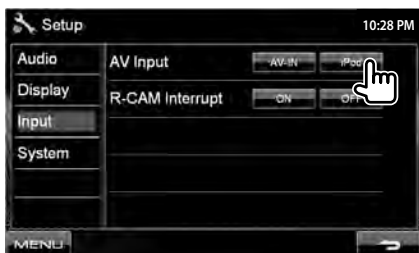
- 1 [MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[SETUP]にタッチします。



- 2 [Input]にタッチします。



- 3 各項目を設定します。



- 4 [] にタッチして終了します。



- [Audio]、[Display]、[Input]、[System]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

Input (入力)

*お買い上げ時の設定

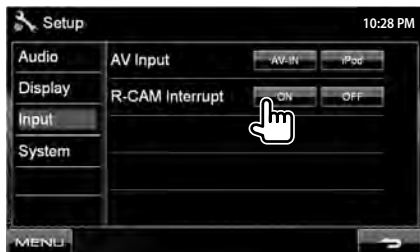
項目	選択肢	説明
AV Input* ¹	AV-IN	iPodのオーディオとUSB機器、外部映像機器を楽しむときに選択します。(P.32、P.36)。
	iPod*	iPodの映像とオーディオを楽しむとき設定します(P.32)。
R-CAM interrupt	ON	リアビューカメラの映像をギアをR(リバース)に入れたときに自動的に切り替えます(P.52)。
	OFF*	リアビューカメラの映像をギアをR(リバース)に入れても自動的に切り替わりません。

*¹ スタンバイのときに設定できます。


リアビューカメラを設定する

リアビューカメラの接続を設定します。

- 1 [Input]の[R- CAM Interrupt]にタッチします。



リアビューカメラを使用しないときは「OFF」にタッチします。

- 2 「」にタッチして終了します。

市販のリアビューカメラを接続したときはリアビューカメラ（別売品）を接続すると、カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

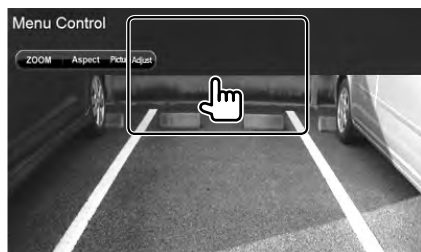
モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

自動でリアビューカメラの映像を表示するときは... シフトレバーを「R」（リバース）にすると、リアビューカメラの映像が表示されます。

手動でリアビューカメラの映像を表示するときは... [FNC]ボタンを1秒以上押しと、リアビューカメラの映像を表示します。キャンセルするには[FNC]ボタンを1秒以上押します。



手動で映像を切り替えたときは、画面上部中央にタッチすると Menu Control画面を表示します (P.38)。



- リアビューカメラ映像を自動で表示するにはリバース検出コードの接続が必要です。接続については取付説明書をご覧ください。

システム設定

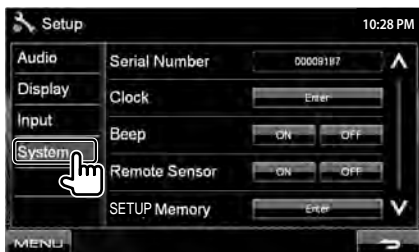
システムを設定する

本機の時計やオーディオ設定の保存、呼び出しなど、システムに関する項目を設定します。

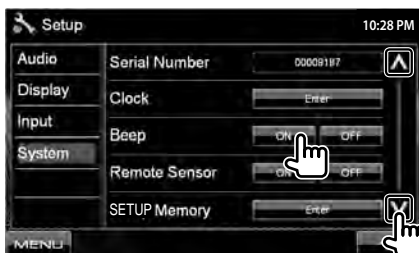
- 1 [MENU]ボタンを押して、Top Menu画面を表示させ[SETUP]にタッチします。



- 2 [System]にタッチします。



- 3 各項目を設定します。



リストが多いときは、▲▼にタッチするとリストを移動します。

- 4 → にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

System (システム) *お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
Serial Number	—	本機の製造番号を表示します。
Clock	—	時計を調整します (P.13)。
Beep	ON*	画面のボタンにタッチしたときに操作音を出します。
	OFF	音を出しません。
Remote Sensor	—	本機では使用しません。
SETUP Memory	—	設定したオーディオ設定を保存または呼び出します (P.54)。
SI	ON	電源がオフのとき、セキュリティインジケータを点滅させます (P.8)。セキュリティインジケータを設定しておく、盗難防止の手助けになります。
	OFF*	点滅させません。
Touch Panel Adjust	—	画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します (P.55)。



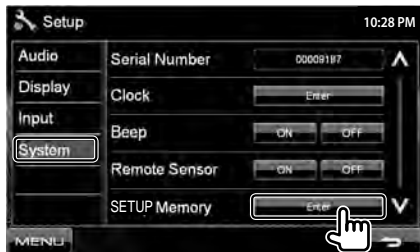
- [Audio]、[Display]、[Input]、[System]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

システム設定

設定を保存する/呼び出す

各種オーディオ設定などを保存します。保存した設定はいつでも呼び出すことができます。本機をリセットしても保存した設定は消えません。

1 [System]の[SETUP Memory]にタッチします。



2 設定を保存または呼び出すときは[Yes]にタッチします。



- Yes** 設定を保存または呼び出します。
- No** 設定を中止してSetup画面に戻ります。
- Lock** Audio設定をロックします。選択すると鍵(🔒)マークの表示されているAudio設定の項目が変更できなくなります。
- Unlock** ロックを解除します。

3 動作を選択します。



- Recall** 保存されている設定を呼び出します。
- Memory** 設定を保存します。
- Clear** 保存されている設定をクリアします。
- Cancel** 設定を中止します。

4 保存または呼び出しを実行します。

設定を保存するときは...



確認のメッセージが表示されます。
保存するときは **Yes**、保存しないときは **No** にタッチします。

設定を呼び出すときは...



確認のメッセージが表示されます。
呼び出すときは **Yes**、呼び出さないときは **No** にタッチします。

保存されている設定をクリアするときは...



確認のメッセージが表示されます。
クリアするときは **Yes**、クリアしないときは **No** にタッチします。

5 にタッチして終了します。

タッチ位置を調整する

画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します。

- 1 [System]の[Touch Panel Adjust]にタッチします。



- 2 ⊕にタッチします。



画面に表示されるメッセージに従って
⊕マークの中央にタッチします。

Cancel 操作を中止します。

Reset 初期状態に戻します。

DVD言語コード表

DVD言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	IE	国際語	Русский	ロシア語
AB	アプバシア語	IK	イヌピアック語	RW	キニヤルワンダ語
AF	アフリカーンス語	IS	アイスランド語	SA	サンスクリット語
AM	アムハラ語	Italiano	イタリア語	SD	シンド語
AR	アラビア語	IW	ヘブライ語	SG	サンゴ語
AS	アッサム語	JA	日本語	SH	セルボークロアチア語
AY	アイマラ語	JI	イディッシュ語	SI	シンハラ語
AZ	アゼルバイジャン語	JW	ジャワ語	SK	スロバキア語
BA	バシキール語	KA	グルジア語	SL	スロベニア語
BE	ベラルーシ語	KK	カザフ語	SM	サモア語
BG	ブルガリア語	KL	グリーンランド語	SN	シヨナ語
BH	ビハリー語	KM	カンボジア語	SO	ソマリ語
BI	ビスラマ語	KN	カナダ語	SQ	アルバニア語
BN	ベンガル語、バングラ語	KO	韓国語	SR	セルビア語
BO	チベット語	KS	カシミール語	SS	シスワティ語
BR	ブルトン語	KU	クルド語	ST	セストゥ語
CA	カタロニア語	KY	キルギス語	SU	スندا語
CO	コルシカ語	LA	ラテン語	Svenska	スウェーデン語
CS	チェコ語	LN	リンガラ語	SW	スワヒリ語
CY	ウェールズ語	LO	ラオス語	TA	タミール語
Dansk	デンマーク語	LT	リトアニア語	TE	テルグ語
Deutsch	ドイツ語	LV	ラトビア語、レット語	TG	タジク語
DZ	ブータン語	MG	マダガスカル語	TH	タイ語
EL	ギリシャ語	MI	マオリ語	TI	ティグリニヤ語
English	英語	MK	マケドニア語	TK	トゥルクメン語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TL	タガログ語
Español	スペイン語	MN	モンゴル語	TN	セツワナ語
ET	エストニア語	MO	モルダビア語	TO	トンガ語
EU	バスク語	MR	マラータ語	TR	トルコ語
FA	ペルシャ語	MS	マレー語	TS	ツォンガ語
FI	フィンランド語	MT	マルタ語	TT	タタール語
FJ	フィジー語	MY	ミャンマー語	TW	トウィ語
FO	フェロー語	NA	ナウル語	UK	ウクライナ語
Français	フランス語	NE	ネパール語	UR	ウルドゥー語
FY	フリジア語	Nederlands	オランダ語	UZ	ウズベク語
GA	アイルランド語	NO	ノルウェー語	VI	ベトナム語
GD	スコットランドゲール語	OC	プロバンス語	VO	ボラビュク語
GL	ガルシア語	OM	(アフアン)オロモ語	WO	ウォロフ語
GN	グアラニ語	OR	オリヤー語	XH	コーサ語
GU	グジャラート語	PA	パンジャブ語	YO	ヨルバ語
HA	ハウサ語	PL	ポーランド語	ZU	ズール語
HI	ヒンディー語	PS	パシュトー語	中文	中国語
HR	クロアチア語	Português	ポルトガル語		
HU	ハンガリー語	QU	ケチュア語		
HY	アルメニア語	RM	ラエティ=ロマン語		
IA	国際語	RN	キルンディ語		
IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語		

ディスクについて

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下記のディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	MP3/WMA/AAC/ WAV/JPEG/MPEG1/2 再生可能
	DVD-RW	○	VRモード対応(DVD-R/ RWのみ)
	DVD+R	○	CPRM対応
	DVD+RW	○	—
	DVD+R DL (2層)	○	ビデオフォーマットのみ 再生可能
	DVD-R DL (2層)	○	—
	DVD-RAM	×	—
	音楽CD	○	8cmディスク非対応
CD	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/ WAV/JPEG再生可能 パケットライト非対応
	CD-RW	○	—
	DTS-CD	○	—
	ビデオCD (VCD)	○	—
	スーパービデオ CD	×	—
	フォトCD	×	—
	CD-EXTRA	△	音楽CD部分のみ再生可能
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	—
その他	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生可能 △：一部再生可能 ×：再生できません

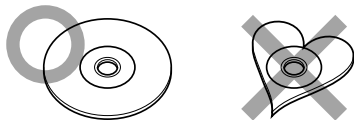
●本機で再生可能な音楽CDは、下記 マークの入ったCDだけです。下記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。



- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)。
- その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

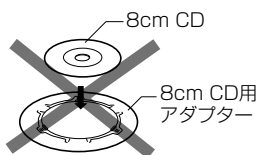
ディスクについて

ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。
8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

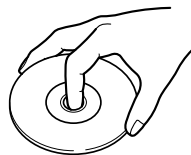


レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

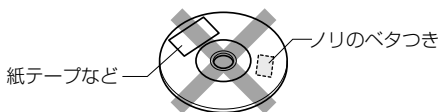


CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

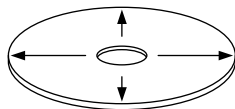
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのレーベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

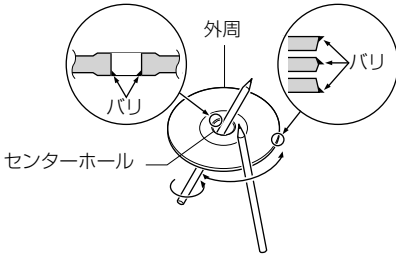
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。

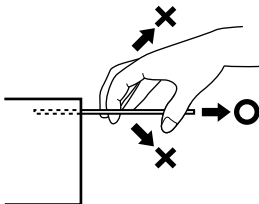
“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



メディアおよびファイルについて

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1 / 2.0
 - MSC (USBマストレージクラス) 対応品
 - 最大消費電流が1A以下
- 上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。
- また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(3) ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器のフォーマット

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。

- FAT32、FAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器には以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

(3) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字、カナ文字、または日本語で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルは、“.mp3”、“.wma”、“.m4a”、“.wav”、“.mpg”の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく 拡張子を付けてください。間違った拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

(4) ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。

メディアおよびファイルについて

(5) メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(6) 著作権保護されたファイルについて

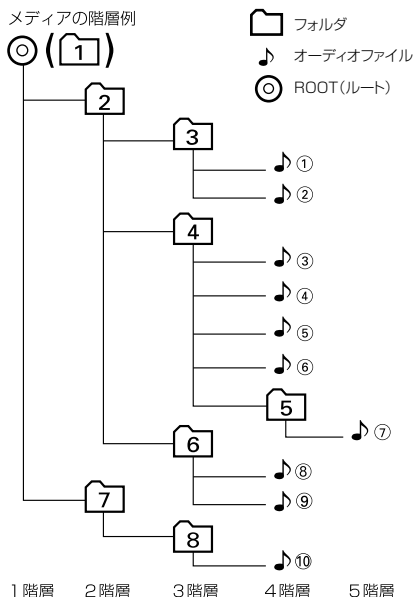
本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(7) オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器ではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



(8) ご使用上の注意事項

- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、ファイルが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、USB延長ケーブルセットCA-U1EX（別売品）をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USB機器が正常に動作しなくなる場合があります。
- USB機器は、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- 2つ以上のパーティションに分かれているUSB機器は使用しないでください。

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるオーディオ/ ビデオ/ピクチャーファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルの種類は以下通りです。

オーディオファイル

- プレイできるオーディオファイル
AAC-LC、MP3、WMA、リニアPCM (WAV)
- 拡張子
m4a、mp3、wma、wav
- ビットレート
AAC: 16~320 kbps (VRB対応)
MP3/WMA: 32~320 kbps (VRB対応)
- サンプリング周波数
AAC: 44.1/ 48 kHz
MP3: 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
WMA: 32/ 44.1/ 48 kHz
WAV: 44.1 kHz

ビデオファイル

- プレイできるビデオファイル
MPEG1、MPEG2
- 拡張子
mpg、mpeg、mod
- 音声フォーマット
MPEG1 Audio Layer-2/Dolby Digital

再生可能な最大映像転送レートは、
4Mbps(ディスク)、2Mbps (USB) です。

ピクチャーファイル

- プレイできるピクチャーファイル
JPEG
- 拡張子
jpg、jpeg
プログレッシブJPEG、ロスレスJPEGは対応して
いません。
- 再生可能画像サイズ
32 x 32~8,192 x 7,680ピクセル

ご使用上の注意事項

- オーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- USB機器内のオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルは、破損する場合があります。必ずバックアップを作成しておいてください。
ファイルが失われたことによる損害につきましては、当社は一切補償いたしません。

iPod/iPhoneについて

本機でコントロールできるiPod/ iPhoneについて

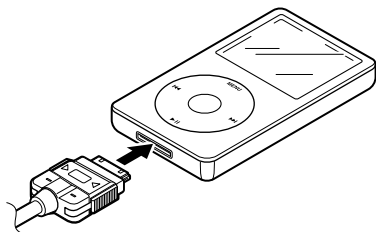
別売品のiPod接続ケーブル(KCA-iP102またはKCA-iP22F)を使用して接続すると、本機からiPodのコントロールが行えます。

本機からコントロールできるiPod/iPhoneは以下のとおりです。(2011年7月現在)

Made for

- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

- 本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。
- iPod/iPhoneに“アクセサリが接続中”または“KENWOOD”と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- 本機に別売品のiPod接続ケーブル(KCA-iP102またはKCA-iP22F)を使用してiPodを接続すると、iPodに電源を供給し、音楽やビデオを再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。



故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コード、入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください(P.39)。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください(P.39)。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください(P.39)。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“OFF”になっている。	リアビューカメラの設定を“ON”にしてください(P.51)。
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェダーが片方に寄っている。	バランスやフェダーを正しく調整してください(P.43)。
	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

故障かな?と思ったら

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。	30°以内になるように取り付けなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合は、ディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクが異常に汚れている。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク“Ⓢ”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ディスクフォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるディスクフォーマットを確認してください(P.60)。
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください(P.62)。
	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

故障かな?と思ったら

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルKCA-iP102 (別売品) またはKCA-iP22F (別売品) が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブル (別売品) を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPodが異常状態になっている。	● iPodメニューに表示されるリセットではなく、iPod本体のリセットを行ってください。 ● iPodを本機から取り外し、iPodの電源を入れなおしてください。
iPodの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能 (イコライザー機能) がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
本機に接続すると、iPodの操作ができなくなる。	ハンドモードがオフになっている。	本機と接続中は、iPodの操作は本機側から行ってください。 iPod側で操作する場合は、ハンドモードをオンにしてください。

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB機器内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください (P.60)。

故障かな?と思ったら

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

メッセージ	考えられる原因	対処方法
Authorization Error	サポートされていないiPod/iPhoneを接続した。	「本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて」接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種かどうか確認してください(P63)。
Disconnected	●iPodが接続されていないときに、ソースをiPodに切り替えた。 ●iPodを取り外した。	iPodを接続してください。
NO Device	●USB機器が接続されていないときに、ソースをUSBに切り替えた。 ●USB機器を取り外した。	USB機器を接続してください。
No Signal	●AV-IN端子に接続した外部AV機器の映像が再生されていない。 ●リアビューカメラの映像信号が入力されていない。	AV-IN入力の映像機器またはリアビューカメラのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
Miswiring DC Offset Error Wiring DC Offset Error	スピーカーのコードショートまたは車両のシャーシに接触したために保護回路が働いた。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続を正しく直したら本機をリセットしてください(P.7)。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
Parking off	走行中に映像を観ようとした。	走行中は映像を見ることができません。
USB Device Error	サポートされていないUSB機器を接続した。	USB機器を取り外し、本機の電源をオフした後、USB機器を接続してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。

用語解説

用語解説

主な用語を解説します。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際規格です。

MPEG (エムベグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC (マストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSB機器の規格です。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

イコライザー

本機には、プリセットイコライザーとユーザーイコライザーの2種類のイコライザーが内蔵されています。プリセットイコライザーは、ジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。ユーザーイコライザーは、3バンドで±8dBの範囲できめ細かく調整できます。

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

.....
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

.....
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

.....
The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

.....
Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

.....
DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

.....
Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0 Channel and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

.....
"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

.....
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

.....
iTunes is a trademark of Apple Inc.

.....
This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

仕様

モニター部

画面サイズ	6.1V型ワイド 136.2 mm (幅) × 72 mm (高さ)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×480V×RGB
有効画素数	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源 (照明方式)	LED

DVDプレーヤー部

D/Aコンバータ	24Bit	
オーディオフォーマット	リニアPCM/Dolby Digital/dts/MP3/WMA/AAC/WAV	
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2	
ワウ&フラッター	測定限界以下	
周波数特性	96kHzサンプリング時	20Hz～22,000Hz
	48kHzサンプリング時	20Hz～22,000Hz
	44.1kHzサンプリング時	20Hz～20,000Hz
高周波歪率	0.01%(1kHz)	
S/N比	98dB (DVD-Video 96kHz)	
ダイナミックレンジ	98dB (DVD-Video 96kHz)	
ディスクフォーマット	DVD-Video/VIDEO-CD/CD-DA	
サンプリング周波数	44.1kHz/48kHz/96kHz	
量子化ビット数	16/20/24ビット直線	

USB I/F部

USB規格	USB2.0 Full Speed
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	DC5V 1A
D/Aコンバータ	24Bit
オーディオフォーマット	MP3/WMA/AAC/WAV
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)
実用感度 (S/N : 20dB)	28dB μ V (25 μ V)

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0MHz~90.0MHz(100kHz)
実用感度(S/N:30dB)	9.3dBf(0.8 μ V/75 Ω)
感度(S/N:50dB)	15.2dBf(1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性	30Hz~15kHz
S/N比	70dB(MONO)
選択度(\pm 400kHz)	65dB以上
ステレオセパレーション	40dB(1kHz)

映像部

映像方式	NTSC
外部映像入力レベル	1Vp-p/75 Ω
外部音声最大入力レベル	2V/25k Ω
外部映像出力レベル	1Vp-p/75 Ω
外部音声最大出力レベル	1.2V/10k Ω

オーディオ部

最大出力	50W \times 4	
定格出力	30W \times 4(4 Ω 、1kHz、10%THD)	
プリアウトレベル	4V/10k Ω	
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下	
スピーカーインピーダンス	4~8 Ω	
音質調整	Bass	100Hz \pm 8dB
	Middle	1kHz \pm 8dB
	Treble	12.5kHz \pm 8dB

電源/寸法/重量

電源電圧	14.4V(10.5V~16V)
最大消費電流	10A
埋込寸法(W \times H \times D)	178mm \times 100mm \times 160mm
使用温度範囲	-10~+60 $^{\circ}$ C
重量	1.9kg

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- モニター部は、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示(画素)が存在することがあります。(故障ではありません。あらかじめご了承ください。)

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.64)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2011年7月現在

北海道

札幌サービスセンター ☎004-0005 札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 ☎(011) 807-3003

東北

仙台サービスセンター ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町7-13 ☎(022) 287-0151

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎331-0812 さいたま市北区宮原町1-202 ☎(048) 778-8714

千葉サービスセンター ☎277-0863 柏市豊四季512-10-67 ☎(04) 7171-3800

横浜サービスセンター ☎226-8525 横浜市緑区白山1-16-2 ☎(045) 939-6242

八王子サービスセンター ☎192-8525 東京都八王子市石川町2967-3 ☎(042) 646-6914

新潟サービスセンター ☎950-0913 新潟市中央区鏡1-5-23 ☎(025) 245-2177

大田サービスセンター ☎146-0082 東京都大田区池上2-8-10 プラムビル1F
(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。

中部・甲州

名古屋サービスセンター ☎481-0041 北名古屋市九之坪鴨田121-1 ☎(0568) 24-1644

静岡サービスセンター ☎420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎(054) 262-8700

金沢サービスセンター ☎921-8062 金沢市新保本4-65-17 ☎(076) 269-2935

近畿・四国

大阪サービスセンター ☎532-0027 大阪市淀川区田川2-4-28 ☎(06) 6390-8005

高松サービスセンター ☎761-8057 高松市田村町205-1 ☎(087) 802-6055

中国

広島サービスセンター ☎730-0825 広島市中区光南3-9-17 ☎(082) 241-0023

九州

福岡サービスセンター ☎812-0031 福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎(092) 283-6675

鹿児島サービスセンター ☎891-0114 鹿児島市小松原1-5-17 ☎(099) 268-0030

沖縄サービスセンター ☎901-2224 宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F ☎(098) 898-3631

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00~18:00(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>